

第二二一回ペン川柳会

令和四年十月二十四日

お題 「和・和む」

■ 松谷 (零門)  
れいもん

平和にも賞味期限があるんやね  
平和呆けいつまで統一やってんだ

■ 塚田 (拿々)  
ただ

あの夫婦不協和音で日が暮れる  
年毎に昭和レトロが懐かしい

■ 八木 (明迷)  
めいめい

絶滅種和式トイレと金隠し  
和食だとトリユラ使ってふざけるな

■ 三春 (火酒)  
ウオツカ

白和えに醤油さす野暮ささぬ見栄  
逝くときは平和(ピン)ドラ無しツモあがり

■ 西川 (酔雅)  
すいが

ペン川柳票が入ってちと和む  
和むのはベッドに潜り眠るとき

■ 浜田 (我々好)  
ウイスキー

「アレ」「アレね？」和む会話も認知症  
お多福の目許和らぐマスク顔

■ 大野 (だし)

聞き飽きたウクライナよりもう平和  
円安で家庭崩壊和も崩れ

■ 曾山 (酩帝)  
めいてい

ちよつと見は平和に見える僕ら夫婦  
プーチンが和(なご)みだしたら世の終わり

■ 安藤 (晃二)  
てるつぐ

婚家のため助命嘆願和宮  
子猫来てティーン(ティーン)の鬼も和みけり

■ 稲宮 (井波)  
いなみ

和服召し友禅愛でるブルーアイズ  
コロナ補助和らぎのスパー今チャンス

世話人 塚田 實(実)  
だだ